

# 船団

●第91号 特集Ⅱ夢と俳句





# 会員作品

坪内 稔典

夕立のずぶ濡れが好き二人とも  
ころがって晩夏の錨みたい、やつ  
露草のそこはケータイ圏外か  
大阪のアンリ・マティスは秋のバラ  
バラ園を川が囲んで水澄んで  
糸瓜忌の糸瓜は太い妹も  
柿はみな尻から太る伊賀上野

中原 幸子

なぜかここがいいなと人と蜥蜴来て  
身動きのならぬロダンやキスの夏  
今日笑いましたか友よサルビアよ  
八月ノ空ヨ学問ヨススメ  
凌霄花蔵たてたのはおじいちゃん  
鷹の爪「笑」のスイツチ入ります  
今日でおしまい本屋の佐野屋さくら草

火箱 ひろ

六月を五年先まで予約する  
夕闇をブラシの花がかきまぜる  
青罌粟を見た日中也に会いにゆく  
きっかけをつかめずにいて熱帯魚  
一本の静かな大樹 日雷  
ペコちゃんとプラスチックな夏休み  
うすうすとブルーな日だな鬼やんま

陽山 道子

復興の夏に手を振るレディー・ガガ  
新聞紙きちんと畳む秋の昼  
白樺の木を植えつけた秋の朝  
螻蛄鳴いて出来ないことをキミにいう  
行きずりの人と話して月を待つ  
満月の湖畔のカヌー五人組  
月光の湖にさざ波明日帰る

塩見 恵介

半島へずきずきと寄す梅雨の雲  
梅雨晴れの朝礼大声コンテスタ  
夕薄暑空荷で帰る台車かな  
店長はいつもTシャツたまに留守  
張り込みの刑事の部屋も大西日  
手に氷菓ブロック塀にまたがって  
運動会一人鼻血を出しており

中谷 仁美

もう駄目と悟ってしまふ夕涼み  
少年は銀の自転車チェーホフ忌  
じいさんも赤子も猫も夏の中  
うだうだと積乱雲をやり過ごす  
すいっちょんに誘われているいい日だな  
丸めても伸ばしてもよし夏休み  
スガシカ才聴いて夕立なしにして